

令和8年度 でかける博物館
大阪府立弥生文化博物館 出張展示



コメづくりから比べる！ 弥生時代と古代中国

共催：大阪府立弥生文化博物館
堺市立みはら歴史博物館

- ① 青銅竈(大阪府立弥生文化博物館)
- ② 緑釉精米所(大阪府立弥生文化博物館)
- ③ 銅鎌(大阪府立弥生文化博物館)

令和8年 6月9日(火)～8月30日(日)

堺市立みはら歴史博物館M・Cギャラリー 観覧料無料
時間 9時30分～17時

弥生時代に始まった水田稲作の技術は大陸からもたらされました。そのルーツとされる古代中国でのコメづくりと食文化はすでに高度に発展していたことが、道具や墓に納めたミニチュアの生活用具(明器)などからうかがえます。

今回は、大阪府立弥生文化博物館所蔵中国資料の「収穫具」や「明器」を中心に、弥生時代と同時期の中国との違いを紹介します。



カイト
作画：宮野ミケ

同じ時期のコメづくりでも日本と中国で違うんだ！

ワークショップ

協力 美原の古代米プロダクツ

すくすくと育てる・学ぶ・古代米！稲作文化を学ぼう！2026
稲作を学び、バケツで古代米を育てるイベントです

- ①堺市立みはら歴史博物館 6月14日(日)10時～12時
- ②大阪府立弥生文化博物館 7月18日(土)～8月30日(日)9時30分～17時
(②は期間のうちの開館日に1日ご参加ください)

定員 30名 対象 ①②両方のイベントに参加できる小・中学生 参加費 500円

※令和8年6月3日(水)から申し込み受付開始
※詳細は別途ちらし、もしくは堺市立みはら歴史博物館ホームページをご覧ください

そんなコメづくりを学ぶワークショップがあるで！参加してみてな！



リュウさん
作画：宮野ミケ

堺市立みはら歴史博物館(M・Cみはら)

指定管理者アクティオ株式会社

〒587-0002 大阪府堺市美原区黒山281
TEL.072-362-2736 FAX.072-362-2260
電子メール m-rekishi@mc-mihara.jp

- 開館時間 9時30分から17時15分(最終入館時間16時30分)
- 休館日 月曜日(祝休日の場合は火曜日)
祝日の翌日(土日休日の場合は開館)、年末年始
- 展示室入場料 200円・中学生以下、堺市内在住の65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方(介助の方1名を含む)は無料
- 駐車場 40台(無料)※駐車台数に限りがあります。

交通案内 南海高野線「北野田駅」から南海又は近鉄バス多治井・大保方面行「黒姫山古墳前」下車すぐ
近鉄南大阪線「河内松原駅」から近鉄バス余部行「大保」下車すぐ(美原ふる里公園に入る)
大阪メトロ御堂筋線「新金岡駅」から南海バス美原区役所前行「下黒山西」下車徒歩600m



堺市立みはら歴史博物館
ホームページ

